

理 念

21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

環境方針**■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。**

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

古着・古毛布を集め、再利用をします。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。**■グリーン購入を進めます。****■広大な社有林の管理に努めます。**

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使わない。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2012 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社 本社工場

取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加

事業の概要

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北1条8丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北1線 18番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水3丁目石田 24番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 取締役総務部長 林 清弘
担当者 総務部総務課主任 森 史彦
連絡先 TEL 0268-42-7500
FAX 0268-42-7520

④ 事業の内容

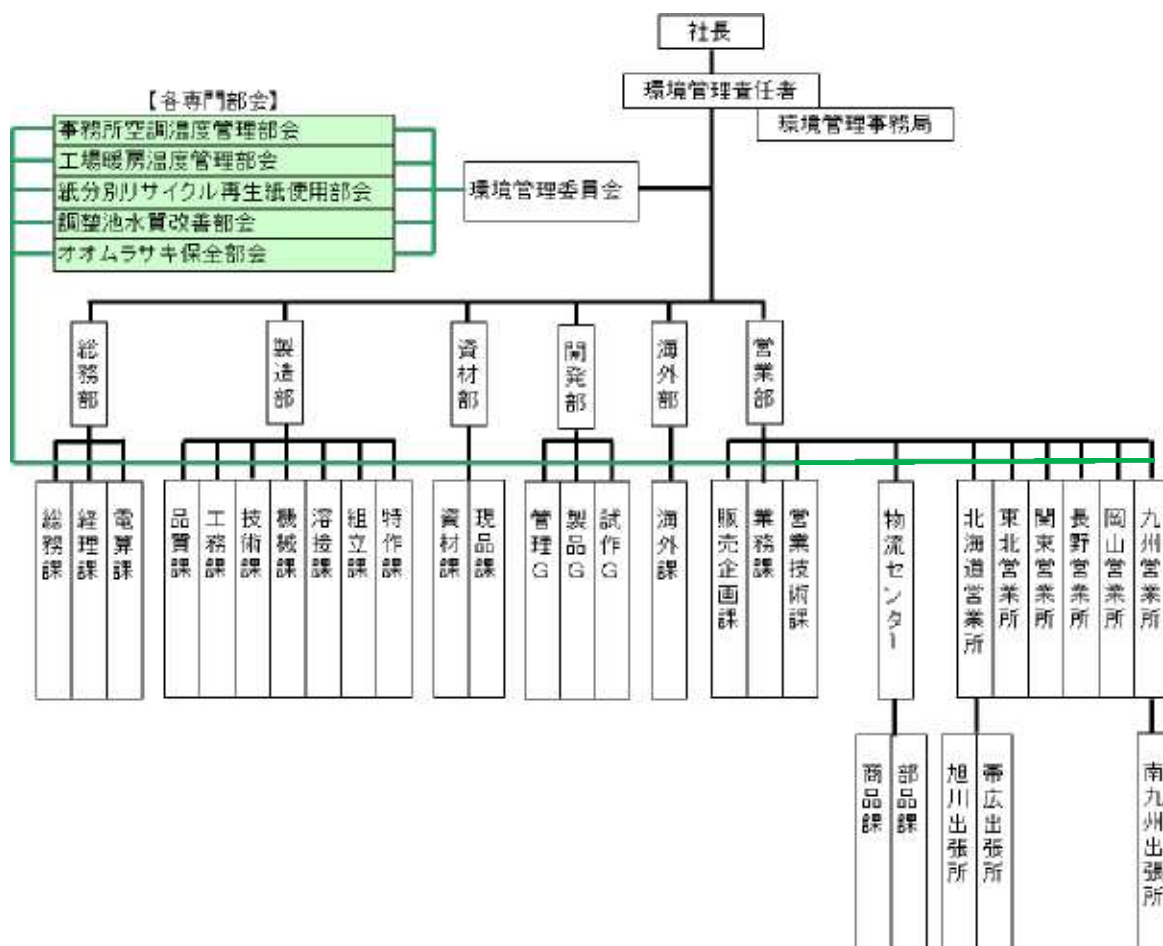
農業機械の開発、設計、製造、販売

⑤ 事業の規模

製品出荷額 156 億円
全従業員数 308 名
EA21 対象人数 308 名
本社工場延べ床面積 19,966 m²

EA2 1 推進体制

E A21 環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	取締役総務部長 林 清弘

事務局	総務課長 小崎 浩
	総務課係長 清水 信男
	総務課主任 森 史彦

統括	専務取締役 清水 英一
総務部	取締役総務部長 林 清弘
資材・製造部	取締役資材部長兼製造部長 宮沢 彰夫
海外・営業部	取締役営業部長兼海外部長 山下 祐二
開発部	開発部長 村山 生夫

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課長 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	製造部付 海瀬 秀樹
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

部会名	調整池水質改善部会
部会長	技術課長補佐 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、及び営業所、出張所、物流センター
- ② レポートの対象期間 2011年1月1日～2011年12月31日（本社工場）
- ③ レポートの対象期間 2011年10月1日～2011年12月31日（営業所、出張所、物流センター）

環境目標とその実績（本社工場）

当社は以下に記載の目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

主要な環境目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2011年度		2010年度	2009年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	1,945,328	2,053,493	2,161,475	2,122,629
		前年比	10% 削減	-5%	1.8%	-1.8%
	ガス使用量	t	285	276	291	260
		前年比	2% 削減	-5.2%	11.9%	-3%
	空調における灯油使用量	t	77.4	76.6	79	65.6
		前年比	2% 削減	-3%	20.4%	-7.6%
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.455)	Kg-CO ₂		2181964	2271148	2135187
廃棄物排出量の削減	燃やすすかないゴミの焼却量	Kg	3,087	3,110	3,150	3,140
		前年比	2% 削減	-0.65%	0.3%	11.7%
	紙(帳票)使用量	Kg	280	280	280	420
		前年比	維持	0%	-33.3%	-9%
	紙(コピー用紙)使用量	Kg	3,151	3,093	3,151	3,312
		前年比	維持	-1.8%	-4.9%	-2.9%
ウエス購入量	Kg	955.5	1065	975	930	
	前年比	2% 削減	9.2%	4.8%	1.6%	
総排水量の削減	上水道使用量	t	10,252	11,007	10,461	10,126
		前年比	2% 削減	5%	3.3%	-13.5%
化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	Kg	—	2,587	2,679	—
		前年比	—	-3.4%	—	—
	キシレン取扱量	Kg	—	7,130	7,187	—
		前年比	—	-0.8%	—	—
	トルエン取扱量	Kg	—	1,596	1,492	—
		前年比	—	0.9%	—	—

2011年環境活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1 資源の有効活用	<p>施肥や播種量をトラクタの車速に合わせて自動的に調節し、肥料や種子の無駄を防ぐ車速連動システムについて関連作業機へ搭載を研究している。</p> <p>今までの当社ロータリー用耕うん爪と比べて、約2倍に耐摩耗性を高めた耕うん爪A330シリーズを商品化した。</p> <p>製品をのせる鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。</p>	開発部
	2 低燃費(CO ₂ 排出量削減)	従来機種より幅広く耕せるロータリーの開発に取り組んでいる。	
	3 減肥肥料栽培体系	肥料の使用量を少なくし効果を高められるように畝内施肥、深層施肥技術の研究に取り組んでいる。	
	【評価】耐摩耗と共に反転、埋没、碎土性能を向上させた新型の耕うん爪を開発した。市場での反応を確かめながら更なる展開をしていく。		
電力使用量の削減(前年比10%減)	1 省エネパトロールの実施	3回実施し、電気の切り忘れ等の指導をした。	製造部
	2 省エネ水銀灯への変更	試作棟、及び現品課部品棚の水銀灯を省エネ照明(セラミックメタルハイドランプ)に変更した。(組立課・溶接課・特作課・機械課は交換済)	
	3 電力計測	受電室に電力測定器を設置して、各バンクごとの電力使用量とピーク電力の時間帯等のデータを収集し分析に用いる。	
	4 節電対策	浜岡原子力発電所の全面停止を受けて5月11日に前年比10%削減に目標を変更し、改めて節電対策を行った。	
	5 再生可能エネルギーの利用	災害時における携帯電話の電源確保として携帯電話用ソーラー充電器を購入し、全国の営業所を含めて主要部署に配布をした。日常的にも使用し節電を行う。	総務部
【評価】昨年比5%削減した。浜岡原発停止を受けて節電への取り組みを強化してきた。緊急事態という事で社員の意識も高く積極的に協力する姿勢が見られた。目標達成は出来なかったが、節電意識が一過性のものにならないように注意する。			
二酸化炭素排出量の削減	1 温度管理に対する意識高揚	<p>オリジナルポスター(4種類)を作成し、事務所に掲示を行い社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。</p> 	事務所空調温度管理部会
	2 送風機の活用	会議室、営業部にて暖かい空気が循環するように扇風機を併用した。	

ガス及び灯油使用量の削減(前年比2%減)	3ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ活動の基礎データにした。	総務部	
	4エアコンの更新	2階及び2.5階フロアのエアコンを省エネタイプの物に更新をした。		
	5断熱フィルムの貼付	営業事務所・電算室の南面ガラスに断熱フィルムを貼り、冷暖房効果を上げた。		
	【評価】ガス全体については5%の削減、特に空調用ガスについて昨年比で24%の削減となった。昨年の使用量が多かった経緯もあるが、夏の電力不足を考慮して設定温度を1℃上げた成果が出たと思われる。			
	1温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会	
	2温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。		
	3工場遠赤暖房機の更新	8係組立ライン西側の4つの暖房機を効率の良い物に更新をした。	総務部	
	【評価】昨年比で3%の削減となった。昨年は工場での温度管理作業が上手く機能していなかった事も一因としてあり、使用量が多かった。今年は温度管理作業をまめに行ったが、目標には届かなかった。外気温の影響が大きいので、出来ることを行っていく。			
廃棄物の削減	燃やすしかないゴミの削減(前年比2%減)	1紙分別を行う	引き取り業者の基準に従い、紙の分別を行った。業者との打合せにより一部基準の変更を行った。 ゴミ箱の種類別に分けた色テープを貼り、捨てるべきゴミ箱の種類が一目で分かるようにした。	紙く分ル別部リ会サイ
		2ゴミゼロ運動に参加	社員25名にて周辺公共道路のゴミ拾いを行った。(5月30日)	総務部
	【評価】昨年比0.65%の減少。昨年とあまり変わらない。平成21年よりほとんど変化がない事を考えると一定のラインに来ている事も考えられる。			
	紙の効率的な使用	1必要部数みの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	総務部
		2複合機の導入	印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を総務に導入した。ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみ紙に印刷をしている。	
【評価】昨年維持の目標に対し重量では1.8%の減だが枚数では2.5%増となった。裏紙用プリンターに新品用紙が入っている事も多くあり、注意をする必要がある。				
ウエス購入量の削減(前年比2%減)	1古着の再利用	家庭で不要になった衣類を集めウエスとして再利用をしている。	総務部	
【評価】昨年比9.2%増となった。年々増加している事を考えると古着の回収率だけでなく、ウエスの使い方にも問題があると思われる。				
調整池富栄養化防止	1「水質改善いかだ」の実証	既存の2基にて実証試験を継続している。	調整池水質改善部会	
	2水質検査	定期的実施している。	技術課	
	【評価】水質検査の数値に大きな変化はなく、今後とも状況を確認していく。			
	1雨水利用	1000Lタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。		

総排水量の削減	上水道量の削減(前年比2%減)	2打ち水の実施	雨水タンクを利用して社員の子どもを対象としたニプロ林間学校にて実施をした。(8月4日)		総務部
		【評価】昨年比5%増加した。漏水調査で休日のメーターの動きを見たが動いていない。水処理場近くの沢へ流れている水の水質を調べたが塩素は検出されなかった。この地域の地下水と同じく窒素・リンが含まれている水質であった為、漏水は無いと思われる。水関係で大きなシステム変更もなく、社員の節水意識の薄れと思われる。			
グリーン購入の推進		1エコマーク・再生材商品の購入推進	グリーン購入に適合しているエアコン、複合機等を選んだ。		総務部
【評価】大物小物に限らず、今後もエコ商品を購入するように心がけていく。					
社有林管理	1伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木の焼却の為、松山記念館分館に針葉樹も燃やす事のできる薪ストーブを設置した。		総務部	
	2松の樹幹注入	合計67本の松に枯れ防止剤を樹幹注入した。			
	3遊歩道の整備	昨年の大雨の被害で木材チップが流れた場所があり社員有志にて木材チップを敷き直した。			
【評価】社有林管理作業は社内有志にて行われる事が多いが、参加するメンバーが固定している。もっと大勢の社員にも参加して貰うように工夫をしていきたい。					
国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見て)	1肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オオムラサキ保全		
	2羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの数を調査をした。			
	3「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。			
	4観蝶会の実施	第6回オオムラサキ観蝶会を7月16日に実施をし周辺住民約200名が来社した。		総務部	
【評価】観蝶会では、常連の方々から今までで一番多く舞っていたとの声を頂いた。また昆虫の種類も増えている様で、里山整備と生物多様性の保全が進んでいる事を思わせる。引続き「日本一のおおむらさき生育地」を目指して活動をしていく。					

環境上の緊急事態への準備および対応	1 複合防災訓練の実施	<p>緊急地震情報発令を想定した避難訓練、消火訓練と環境負荷災害対応訓練を10月19日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。</p> 	総務部
	【評価】消火訓練については誰もが消火器の取り扱いに慣れ、「初期消火」が出来るように社員全員が体験できる事を目指し継続をしていく。		
団体への支援	1 小学生への環境活動の紹介	<p>工場見学に訪れた小学生に対してオオムラサキの保護や社有林の管理等、環境保全活動について説明をした。また天気の良い日には遊歩道に案内をして里山体験してもらった。(計8校495人)</p> 	総務部
	2 キッズISOプログラム事業への協力	平成20年から引続き、長野県の『キッズISOプログラム事業』に協力をした。	
	【評価】今後とも将来を担う子供達を通じて地元地域との交流を図っていきたい。		
化学物質使用量の適正管理	1 塗装用ガンの更新	<p>上塗り用塗装ガンの更新により、塗装システムを6ガンから4ガンに変更した。これにより色替え時に必要なガン洗浄用シンナーの使用量は以前の3分の2に削減された。</p>	技術課
	【評価】当社において化学物質の使用は、大部分が塗装関係になる為、削減にはシステム変更が伴う。費用面から簡単に出来ないが、更新時期等がきた物については環境負荷も考慮しながら行っていきたい。		

今年以降の目標（本社工場）

2012年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力使用量、上下水道使用量、ガス・灯油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。ウエス購入量を削減します。紙を大切に使用します。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2012年度以降の目標値 年間(1～12月)

	2012年度	2013年度	2014年度
電力使用量 (KWh/年)	5%減	前年維持	前年維持
ガス使用量 (t/年)	2%減	2%減	前年維持
空調における灯油使用量 (kℓ/年)	2%減	2%減	前年維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	現状維持	現状維持	現状維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	現状維持	現状維持	現状維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	現状維持	現状維持	現状維持
ウエス購入量 (kg/年)	2%減	2%減	2%減
上水道使用量 (t/年)	2%減	2%減	2%減
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	10%減	前年維持	前年維持
キシレン(kg/年)	10%減	前年維持	前年維持
トルエン(kg/年)	10%減	前年維持	前年維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

2012年度の取組内容（本社工場）

2012年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項目	取組内容
電気使用量	省エネパトロールの実施、節電対応
ガス使用量	事務所温度管理の徹底、ウォームビズ・クールビズの実施
空調における灯油使用量	工場温度管理の徹底、温度管理表の適時改善
燃やすしかなないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用
ウエス購入量	家庭用古着の再利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	特作課 塗装設備の改良
グリーン購入	推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業支援する機械の研究

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2011年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要求事項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車Nox・PM法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS指令	有害6物質の使用禁止	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2011年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所
- 東北営業所
- 関東営業所
- 長野営業所、物流センター（同一建物）
- 岡山営業所
- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次の頁より

平成23年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日:平成24年2月14日

作成者: 樋口

平23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										3,001	3,505	4,560	11,066
水道(m)											20		20
LPG(kg)										1.2	1.6	1.6	4.4
灯油(L)										0	760	897	1,657
コピー用紙(kg)										0	23	20	44
コピー用紙A3(枚)													0
コピー用紙A4(枚)											5,000	5,000	10,000
コピー用紙B4(枚)													0
コピー用紙B5(枚)													0
A5											1,500		1,500
コピー用紙計(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,500	5,000	11,500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													9,456

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	来客フロアの照明を消す(窓が多く明るいので)	昼間は、常に消した
	冷蔵庫室温調節を小にする	常に小にした
	テレビのコンセントを抜く	常にコンセント抜いていた
水道	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う	節水に努めた
LPG	ガス量、温度共に小にする	常に小にした
灯油	冬はできるだけ着込み、ストーブの温度を上げない	ストーブの温度上げ過ぎないように注意した
コピー用紙	裏面使用、カラーコピーは極力使わない	コピー用紙の裏面使用した

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	47900	前年度以下	前年度以下	昼休憩時は、消灯する。 来客フロアの照明を消す 夏は室温28°Cに心掛ける。ブラインドを閉める
水道(m)	160	前年度以下	前年度以下	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(kg)	22	前年度以下	前年度以下	ガス量、温度共に小にする
灯油(L)	8300	前年度以下	前年度以下	冬は着込み、ストーブの温度を上げない
コピー用紙(枚)	46000	前年度以下	前年度以下	裏面使用、カラーコピーは極力使わない

平成23年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日:平成24年2月14日

作成者: 渡部

平23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										993	1,265	1,444	3,702
水道(m)									地下水のため				0
LPG(kg)(ガスボンベ)										0	0	0	0
灯油(L)										160	222	439	821
コピー用紙(kg)										0	40	0	40
コピー用紙A3(枚)											1,500		1,500
コピー用紙A4(枚)											5,000		5,000
コピー用紙B4(枚)													0
コピー用紙B5(枚)													0
コピー用紙計(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,500	0	6,500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													4,387

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	パソコンの明るさなども調節して節電する	ディスプレイを暗くした
水道	地下水を使用している	
LPG	あまり給湯器を使わないようにする	あまり使わなかった
灯油	できるだけ暖かい格好をする	暖かい格好をし、暖房温度を下げた
コピー用紙	印刷枚数、用紙設定を確認し印刷ミスを減らす	確認してコピーした

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	16100	前年度以下	前年度以下	昼休憩時は、消灯する 夏は室温28℃に心掛ける。ブラインドを閉める 冷蔵庫の室温調節を小にする
水道(m)	-	-	-	
LPG(kg)	-	前年度以下	前年度以下	ガス量、温度共に小にする
灯油(L)	2900	前年度以下	前年度以下	冬は着込み、ストーブの温度を上げない
コピー用紙(枚)	26000	前年度以下	前年度以下	裏面使用、カラーコピーは極力使わない

平成23年度 帯広出張所 環境活動報告

作成日:平成24年2月14日

作成者: 井上

平23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										494	489	570	1553
水道(m)										5	6	4	15
LPG(kg)										1.2	1.8	1	4
灯油(l)												410	410
コピー用紙(kg)										0	0	0	0
コピー用紙A3(枚)										0	0	0	0
コピー用紙A4(枚)										0	0	0	0
コピー用紙B4(枚)													0
コピー用紙B5(枚)													0
コピー用紙計(枚)										0	0	0	0
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													2,357

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	省エネの意識を高める	節電を意識した
	テレビのコンセントを抜く	抜いた
	比較的明るいときは、照明を消す	消した
水道	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う	節水に努めた
LPG	ガス量、温度共に小にする	常に小にした
灯油	冬はできるだけ着込み、ストーブの温度を上げない	常に最少温度にした
コピー用紙	裏面使用、カラーコピーは極力使わない	コピー用紙の裏面を使用した

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	6800	前年度以下	前年度以下	昼休憩時は、消灯する。 夏は室温28℃に心掛ける。ブラインドを閉める エアコンのフィルター清掃を定期的に行う
水道(m ³)	70	前年度以下	前年度以下	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(kg)	14	前年度以下	前年度以下	ガス量、温度共に小にする
灯油(l)	1400	前年度以下	前年度以下	冬は着込み、ストーブの温度を上げない
コピー用紙(枚)	13000	前年度以下	前年度以下	裏面使用、カラーコピーは極力使わない

平成23年度 東北営業所 環境活動報告

作成日: 2012/4/4

作成者: 高橋ひとみ

平成23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										1791	2417	3444	7652
水道(m)										15	26	13	54
LPG(kg)										8.0	108.0	438.0	554.0
灯油(ℓ)										0	198	410	608
コピー用紙(kg)										15	0	20.4	35.4
コピー用紙A3(枚)													0
コピー用紙A4(枚)												5000	5000
コピー用紙B4(枚)										2500			2500
コピー用紙B5(枚)													0
コピー用紙計(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2500	0	5000	7500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													7,447

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 蛍光灯の間引き	意識的に節電を心掛けることにより 電気使用量が昨年より34%減と なった。
水道	漏水チェック	3月に震災の影響で漏水し、 一年間の正確な使用量が把握で きなかった。無駄に使用している感 は特にはなかった。
LPG	エアコンをほとんど使用しなかった。 ウォームビズ、クールビズの徹底	今年は記録的な猛暑だったが、 夏場エアコンをほとんどつけな かった為LPGも33%減という結果に なった。
灯油	工場のストーブの台数を2台から1台へ減ら す。 席を離れる時は電源OFFする。	ストーブの台数を減らし、ウォーム ビズを徹底することで灯油の使用 量が昨年より28%減になった。
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	前年の実績がわからないので 今後も紙の節約を心掛け取組を 継続していく。

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	40,000	前年度以下	前年度以下	前年度の取組みを継続
水道(m)	230	前年度以下	前年度以下	前年度の取組みを継続
LPG(kg)	2,300	前年度以下	前年度以下	前年度の取組みを継続
灯油(ℓ)	2,100	前年度以下	前年度以下	前年度の取組みを継続
コピー用紙 (枚)	50,000	前年度以下	前年度以下	前年度の取組みを継続

平成23年度 関東営業所 環境活動報告

作成日： 2012/1/9
 作成者： 白木良尚

平成23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										4239	5104	5,935	15278
水道(m)										55	—	67	122
LPG(kg)										450	195	142	787
灯油(ℓ)										—	—	400	400
コピー用紙(kg)										24.5	29.1	25.7	79.2
コピー用紙(枚)										5998	7126	6298	19422
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													11,054

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	入口自動ドア(内:ON 外:OFF)←一時中止 昼休み事務所消灯、エアコン温度管理	入口の自動ドア:内/外ONは暖房の関係上お許し下さい 営業マンの出張時のパソコン電源OFFは、少しずつではあるが、実行されつつある
水道	特になし 必要最低限(作業機の洗車等)の使用	必要最低限の使用です ※使用後は電源OFFチェック
LPG	特になし 必要最低限の使用	必要最低限の使用です
灯油	特になし 必要最低限の使用	冬の為、ストーブを工場で使用頻度、増休憩時等の不在時は電源OFF
コピー用紙	報告書:裏紙使用(使用済連続紙) 印刷物に応じて、新品or裏紙印刷の選択	裏紙使用出来るものは、使用無駄のない印刷を心掛けた

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	83600	前年度以下	前年度以下	出来るところから節電に取組む 電気設備(ON/OFF)
水道(m)	550	前年度以下	前年度以下	必要最低限の使用 (洗車に関しても、ある程度泥等落としてからetc)
LPG(kg)	5200	前年度以下	前年度以下	必要最低限の使用
灯油(ℓ)	1600	前年度以下	前年度以下	メインとなるのは冬の工場でのストーブ。日により温度の違いがあるため差があるが、不在時のOFF等を行う
コピー用紙(枚)	78000	前年度以下	前年度以下	無駄のない印刷、裏紙使用等を行う。

平成23年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日:24/8/28
作成者:滝沢

平成23年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										2,055	2,131	2,740	6,926
水道(m)										27		28	55
LPG(kg)										148	2	56	206
灯油(l)											2,246	3,562	5,808
コピー用紙(kg)										51.5	42.82	23.46	117.78
コピー用紙A3(枚)										0	0	0	0
コピー用紙A4(枚)										10,000	8,000	5,500	23,500
コピー用紙B4(枚)										0	0	0	0
コピー用紙B5(枚)										500	1,000	0	1,500
コピー用紙A5(枚)										4,500	3,500	500	8,500
コピー用紙計(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000	12,500	6,000	33,500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													22,329

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施	必要の無い電気など消す習慣がついた
水道	漏水チェック雨水利用	漏水はなかった
LPG	エアコン設定温度の基準作成 クールビズ・ウォームビズの実施 物流C部品庫屋根の塗装工事をし、一部遮熱塗装を施した	クールビズ・ウォームビズを実施した
灯油	工場暖房の温度管理	温度管理を行った
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	裏面再利用を行った

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	32,452	前年以下	前年以下	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施
水道(m)	170	前年以下	前年以下	漏水チェック 雨水利用
LPG(kg)	2,260	前年以下	前年以下	エアコン設定温度の基準作成 ウォームビズ、クールビズの実施
灯油(l)	20100	前年以下	前年以下	暖房の温度管理
コピー用紙(枚)	130000	前年以下	前年以下	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底

平成23年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日: 2012/2/15
作成者: 福井 恵美子

平成23年度 使用実績(10~12月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										830	999	1124	2953
水道(m)											16		16
LPG(kg)										0.6	0.6	1.4	2.6
灯油(L)											200	100	300
コピー用紙 (kg)										37.3	28.0	0.0	65.3
コピー用紙A3(枚)										500			500.0
コピー用紙A4(枚)										7500	5000		12500.0
コピー用紙B4(枚)													0.0
コピー用紙B5(枚)											2500		2500.0
コピー用紙 計(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8000	7500	0	15500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													2,592

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	事務所内の使われていない所の電気をこまめに切る。	エコアクションの取組意識がまだ浸透していないのか、照明等つきっぱなしになっていることが多い。
水道	ムダに出しっぱなしにしない。	特にムダにつかっているようなところはないように感じた。
LPG	湯沸し器のお湯を出しっぱなしで使わない。	今年は冷え込みがひどく、トラックの窓がしみることもしばしば。この時期、使用量が増えるのは仕方ないと思う。
灯油	暖房19℃以下を心掛ける。	ストーブは一度つけたら、つけっぱなしが多く、細かい温度調整ができていなかった。
コピー用紙	所内の資料等、裏紙で対応できるものは裏紙を使う パソコンからの直接FAXやメールなどペーパーレスを心掛ける。	裏紙を使う意識がまだ低いように感じた。 追加価格表がでると、裏紙を使えないため使用量が増えた。

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成26年	次年度取組内容
電気(Kwh)	12900	前年度以下	前年度以下	1人1人がエコアクションの取組意識をもって、節電を心掛ける。 冷房29℃以上!
水道(m)	110	前年度以下	前年度以下	展示会・実演会も増え洗車も増える時期ですが、効率の良い洗車をし、節水を心掛ける。
LPG(kg)	5.0	前年度以下	前年度以下	現在もムダに使っているようなことはないで現状維持、お湯を出しっぱなしをしない。
灯油(L)	1000	前年度以下	前年度以下	エアコンとストーブを上手く調整し過度の暖房にならないようにする。 暖房19℃以下!
コピー用紙(枚)	38000	前年度以下	前年度以下	1人1人が裏紙使用の意識を持つ追加価格表など、必要以上にコピーしない。

平成23年度 九州営業所 環境活動報告

作成日： 2012年3月31日
 作成者： 福永 美奈子

平成23年度（10月～12月） 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										4314	3243	3960	11517
水道(m ³)										23	24	25	72
コピー用紙(Kg)										20.4	40.8	30.6	91.8
コピー用紙 A3(枚)													0
コピー用紙 A4(枚)										2500	5000	2500	10000
コピー用紙 A5(枚)										5000	10000	10000	25000
コピー用紙 B4(枚)													0
コピー用紙 B5(枚)													0
コピー用紙計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7500	15000	12500	35000
LPG(Kg)										0	0	0	0
灯油(ℓ)										0	200	180	380
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													6,210

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	事務所：不要の電気を消す。エアコンの温度管理 倉庫内：水銀灯を控える	不要な電気を消す習慣がついた
水道	漏水確認	漏水確認行うようになった
紙	裏紙再利用（コピー、メモ紙）	裏紙再利用行った
LPG	ガス使用を控える	ガス湯沸し器故障のため使用量0になった（約5か月間）
灯油	倉庫暖房の温度管理	初冬暖冬だったため、ストーブの使用を控えることができた

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成25年	次年度取組内容
電気(Kwh)	51000	前年度以下	前年度以下	不要な電気を消す
水道(m ³)	340	前年度以下	前年度以下	漏水チェック
紙(枚)	155000	前年度以下	前年度以下	裏紙利用
LPG(Kg)	21	前年度以下	前年度以下	無駄なガス使用を控える
灯油(ℓ)	1200	前年度以下	前年度以下	温度管理を行う

平成23年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日： 2012年3月31日
作成者： 長友 良枝

平成23年度（10月～12月） 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)										1168	1198	1430	3796
水道(m ³)										26		28	54
コピー用紙(kg)										0	20.4	0	20.4
コピー用紙 A3(枚)										0	0	0	0
コピー用紙 A4(枚)										0	5000	0	5000
コピー用紙 A5(枚)										0	0	0	0
コピー用紙 B4(枚)										0	0	0	0
コピー用紙 B5(枚)										0	0	0	0
コピー用紙計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5000	0	5000
LPG(kg)										0.1	0.3	1.5	1.9
灯油(ℓ)										0	0	0	0
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													2,304

平成23年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	所内必要の無い電源のOFF エアコンの設定温度（暖房19℃以下、冷房28℃以下）	クールビズ ウォームビズを実施した
水道	節水、漏水チェック	無駄水の利用減が出来た
紙	裏紙再利用、必要部数（最少）のみコピー	裏紙の利用徹底、無駄なコピーが減った
LPG	無駄な使用を控える	意識して使用した
灯油	エアコンと絡めた利用	倉庫暖房の使用が減った

次年度以降の目標

	平成24年	平成25年	平成25年	次年度取組内容
電気(Kwh)	17900	前年以下	前年以下	ウォームビズ、クールビズの実施
水道(m ³)	240	前年以下	前年以下	漏水チェック
紙(枚)	20000	前年以下	前年以下	裏紙利用
LPG(kg)	9	前年以下	前年以下	無駄なガス使用を控える
灯油(ℓ)	-	前年以下	前年以下	エアコンを上手に使い、効率良い温度管理をする

代表者による全体の評価

昨年は東日本大震災を経験し、エネルギーの重要性、また限りのある事を痛感させられた年でした。特に電力については、本社管轄電力会社である中部電力の浜岡原子力発電所が停止となった為電力供給の逼迫が懸念される中、削減目標を2%から急遽10%に変更して節電対策を強化してきました。残念ながら目標には届きませんでしたでしたが、全社員一丸となって行った事はよい経験となりました。

昨年10月から、対象範囲を本社工場から全組織に拡大しました。6つの営業所、3つの出張所、及び物流センターが一斉に加わり、営業所は勿論本社社員にも多少の戸惑いがあるようです。特に営業所（出張所、物流C）にとっては初めて事で手探り状態の中進めているわけですが、とりあえず動き始めた事を評価したいと思います。

本社と営業所が連絡を取り合い特別な事ではなく、出来る事を確実にやっていけるようにしたいと思います。また、条件の違う中で営業所毎の工夫などを共有する中から活動の活性化が生まれる事を期待しています。